

実践も私 「ニコニコ」酪農

なるほど!!



3/29 ~ 30 徳島県阿波市土成町

あなたは五十円落ちていたら拾いますか？
講演を聞いて更に探求

広酪は、三次市酪農振興会(橋本洋資会長)が、昨年十一月二十二日に開催した渡邊徹副局長(徳島県東部農林水産局)を講師に招いた「儲かる酪農経営」の講演を支援した。

この講演を受けて、渡邊副局長が実践指導する徳島県の酪農家を自らの目で確認し、自らの酪農経営にその成果

今ではみんな

「ニコニコ楽しい酪農経営」

視察は、渡邊先生が指導する酪農家に対応頂いた。視察先の大松牧場には、毎月、五戸が夫婦で集まり、渡邊先生を囲み勉強会を開催されている。

この効果は、渡邊先生の指導を得ることに止まらず、仲間との競争意識が芽生え、常に上を目指そうとする個々の、経営改善に向けて力の源になっている。

大松さんは「最初はみんな六千〜七千kg程度の乳量で低カル、第四胃変異等の疾病で苦しい経営状態だった

を取り入れたい」とする要望意見から

広酪はこの視察の支援にあたった。

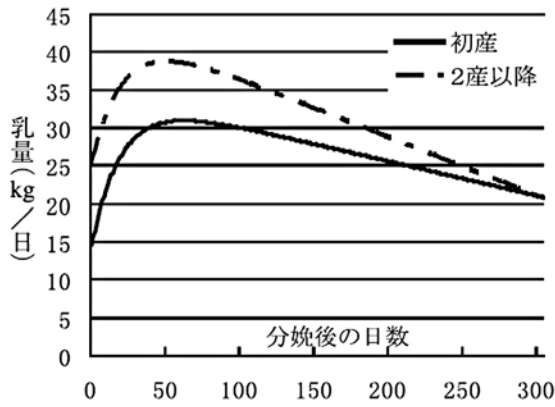
参加者は、若い酪農後継者を含め八名が参加し、組合からは名越道弘技師(事業推進課)、加藤祐一技師(東部事業所)の二名が参加した。

(※前回の講演内容はらくのうだより十二月号六ページ参照)

が、今は一万kg程度の乳量で、みんなニコニコして楽しい酪農が出来ている」と満面の笑顔で話された。



大松牧場のご夫妻から説明を聞く 檜高侑祐くん(中央)



なるほど
二 泌乳曲線の固定概念を
変えよう!

乳量は分娩後から徐々に増え、泌乳ピーク期を迎えて徐々に低下していくのが一般的だが、渡邊先生は「泌乳曲線でのピーク期なんてない。なぜならば五十kg、六十kgを搾る必要は無く、四十kgを六ヶ月間引つ張ることこそが大事」と強調された。適正な飼養管理を行えば、立ち上がりから四十kgを搾ることができ、一回目の検定結果から成果が表れると説明を加えられた。

前回の講演では「乾乳期の飼養管理が大切で、カルシウムの増強や強肝して、しっかりとエサを食い込める状態にすることが重要」と強調されたが、指導を受ける酪農家の皆さんはそれを実践され、実際にその結果がデータに現われている。

ふむふむ
三 過不足の無い
飼料給与が大事!

大松牧場のご夫妻は口を揃えて「渡邊先生は『過不足の無い飼料給与が大事』と口癖のように言われる」と繰り返し、さされる言葉は大変印象的であった。また、「人は五十円玉が落ちていれば拾

よし頑張るぞ
四 現地を見て納得
「めずすはニコニコ酪農」

うが、五十円分の乾草が落ちていても殆ど掃いて捨ててしまう。私達も最初はそうだったが、渡邊先生に『牛舎にお金が落ちてるよ』と良く言われて、それから何処にお金落ちていたのか探すようになった。面白いもので、何事も考え方一つ変えるだけで経営状況は違ってくる』との言葉は説得力があり、参加者らは納得した様子であった。

今回の参加会員のうち三名は若い酪農後継者で、視察先では熱心にメモを取る等、酪農経営への改善意欲に熱意が感じられた。先般の酪農講演会で感銘を受け、実践指導される酪農家を自らの目で確認し、更に、自らの酪農経営にあった改善方法を探すきっかけとなったようだ。参加者らは、改めて改善に目を輝かせ、早速実践したいと決意されていた。

わぁ!キレイな牛舎!



(通路や餌槽等には残滓は無く清潔な大松牧場の牛舎内)

酪農家は、これまでの酪農形態や習慣を変えることに抵抗感を抱くことは普通であるが、あえて変化させていくためには、少しの勇気が必要であるよ

うに感じた。違った見方によって、その一歩を踏み出し、それを乗り越えることが出来れば、それは成功への第一歩となる。自らの酪農経営の無駄を無くし、みんながニコニコ楽しい酪農が出来れば、「幸せ」ではないだろうか。

○今月の表紙

▼平成二十四年四月になった。あちこちで新しいランドセルを背負った子供たちに目をやる。▼何と可愛いこと。ランドセルが大きく見える。

▼広酪の職員も自ら小学校や中学校、高校、大学、社会人へと成長に立ち会った。▼誰しも親は、子供の成長は気掛かりというもの。▼山裾では、小鳥に囀りも美しく聞こえ求愛活動が活発化しているように思えてくる。▼こうした時期、広酪本所がある三次工業団地近くの池で川鵜が巣作りを勤しむ姿に遭遇し思わずカメラを構えた。▼一心不乱に、子孫繁栄を願ってか巣作り頑張っている姿に感動を覚えた春の日であった……。

